

8 美術科

(1) 観点別学習状況の評価例

■ 教科の目標 ※『学習指導要領』（平成29年告示）参照	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の造形活動の喜びを味わい楽しく美しさや生命感を基に、表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。
■ 教科の「評価の観点及びその趣旨」 ※『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』参照	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の造形活動の喜びを味わい主体的に表現活動及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
○ 授業の構想と学習評価	デザインや工芸などで考える 知構想や動き、時間の経過等の効果や造形的な特徴を基に、イメージなどで捉えることを理解している。 技意図に応じて自分の表現方法を追求し、制作手順を総合的に考え、見通しをもって表現している。 <評価方法> ・レポート、プリント ・課題作品 ・定期考査	発想イメージを基に伝える相手や内容、社会の関わりなどから主題を生み出し、構図の効果と美しさなどを総合的に考え構想を練っている。 鑑賞調和のとれた美しさを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考え、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 <評価方法> ・最終 PF(ポートフォリオ) ・課題作品 ・定期考査	表現主体的に工夫し構想を練ったり、表現方法を追求して見通しをもって創造的に表現したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 鑑賞伝えたい場面やイメージの美しさを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 <評価方法> ・学習への取り組み ・課題作品 ・クロッキー帳 ・授業 PF(ポートフォリオ)
	・定期考査以外はすべて、A+、A、B+、B、C+、Cの6段階で評価します。 ・知識・技能、思考・判断・表現は、毎回の授業で到達度に合わせた目標を提示しています。 (B基準の例)：浮世絵のレポート：浮世絵の良さや時代背景、美術を通した国際理解、美術文化について、自分の体験や感じたことと関連付けて説明文を書くことができる。 ・主体的に学習に取り組む態度は、知識及び技能を獲得したり、思考力判断力表現力等を身に付けたりするための粘り強い取り組みや、自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかを、授業ポートフォリオで評価します。		

(2) 年間指導計画

美術 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の想像活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

① 第1学年

美術 第1学年の目標

- (1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を想像していく意欲と態度を養う。
- (2) 対象を深く観察する力、感性や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や基礎的技能を身につけ、多様な表現方法や造形要素に関心をもち、創意工夫し美しく表現する能力を養う。
- (3) 自然や美術作品などについて基礎的な理解や見方を広げ、よさや美しさなどを感じ取る鑑賞の能力を養う。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	●オリエンテーション (プリント①)	授業への心構え、図画工作から美術へ	・授業の様子 ・プリント①(主体)
5	●デザイン「絵文字」 ・色彩の学習(作品①) ・絵文字実技(作品②)	色彩学、色相環をつくる他 文字のデザイン、彩色技法を学び、豊かな発想から作品を制作する	・作品①(混色技術) ・作品②(デザイン発想、 彩色技能) ・授業 PF・最終 PF
6	●対話型グループ鑑賞 (鑑賞)	名画をグループ鑑賞し、表現された世界を味わい、言語活動を行う(人権)	・授業様子・授業 PF
7	●ポスター(作品③)	構成美の要素、デザインの作り方、彩色技法	・作品③ (彩色・表現技能)
9	●デッサン「ひも靴」 (作品④)	形のとらえ方(明暗表現による立体感の出し方)	・作品④(表現技能) ・授業 PF・最終 PF
10	●祭を彩る造形 ・暮らしの中の伝統工芸 (レポート①)	地域に息づく文化を知る 地域の願いが育む造形との出会い	・授業の様子 ・レポート(知識)① ・授業の様子
11	・和の文様	伝統の文様デザインを通して美しい構成や色と形、意味を知る	・定期考査
12	・仮面「私を守る〇〇」 仮面制作(作品⑤)	オリジナル仮面制作	・アイディアスケッチ (表現発想)
1	ー2 学期続きー	粘土技法(彫塑)	・作品⑤ (立体表現技能・発想) (彩色表現技能・発想) ・授業 PF・最終 PF
2		張り子技法 素材の特徴を知り、いかしながら表現する	
3		彩色技法 身体表現を用いた発表	
			・学年末考査

② 第2学年

美術 第2学年の目標

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、豊かな生活を想像していく意欲と態度を高める。
- (2) 対象を深く見つめる力、総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を工夫し創造的に表現する能力を伸ばす。
- (3) 自然、美術作品や文化遺産などについての理解や見解を深め、心豊かに生きることと美術のかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	●4色で作る私のアイコン (作品①)	デザインの作り方(形の単純化と強調・情報の伝達と視覚化) 色彩の基礎を踏まえ、表現意図を明確にして自分のアイコンを制作する。	・授業の様子、 ・作品① (主体・表現技能・発想)
5	●「不思議な空間 in my mind」 ・鑑賞：シュルレアリスム (プリント①)	シュルレアリスムって何？ 様々な表現技法を知り、モダンテクニックを実習する	・プリント① (表現技能・発想)
6	・様々な表現技法を学ぶ (作品②)	遠近法が生まれた訳、種類や描き方を理解する	・作品② (技法取得・発想)
7	・様々な遠近法を学ぶ		・アイディアスケッチ (表現技能・発想)
	・空想の中の不思議な世界を描く(作品③)	空想の中の不思議な世界をモダンテクニックや遠近法を用いて描く	・授業 PF ・定期考査
9	－1学期続き－		・作品③ (表現技能・発想) ・授業 PF・最終 PF
10			・アイディアスケッチ (表現技能・発想)
11	●工芸「錫に思いをのせて」 (作品④)	金属との出会い 鍛技法で自分の形を仕上げる	・作品④ (立体表現・取り組み)
12	●「浮世絵パロディ」(作品⑤) ・「浮世絵はすごい」鑑賞 ・「日本文化との出会い」鑑賞	浮世絵や印象派の良さや時代背景、美術を通じた国際理解、美術文化を知る	・レポート(知識) ・アイディアスケッチ (表現技能・発想) ・授業 PF ・定期考査
1	－2学期続き－	色鉛筆での表現方法を知る 浮世絵パロディ制作	・作品⑤ (表現技法・発想) ・授業 PF ・最終 PF
2			・学年末考査
3			

③ 第3学年

美術 第3学年の目標

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、豊かな生活を想像していく意欲と態度を高める。
- (2) 対象を深く見つめる力、総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を工夫し創造的に表現する能力を伸ばす。
- (3) 自然、美術作品や文化遺産などについての理解や見解を深め、心豊かに生きることと美術のかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	●オリエンテーション「美術とはなにか」 (レポート①)	美術の役割や価値について多面的に考える 自分の経験や考えを言葉で表現する 今後の授業への主体的なかかわり方を考える	・授業の様子 ・レポート① (主体・表現技能・発想)
5	●水墨画「仏像を描く」 ・「筆と水で多彩に表す」 ・「仏像の世界に見る人々の祈り」(調べ学習)	水墨画の特徴や技法を学び多様な表現を味わい 独自の世界を表現する 研究活動や修学旅行を通し日本文化と出会い、実感を伴いながら理解する	・作品① (表現技能・発想) ・授業 PF・最終 PF
6	・推しの仏像を描く(作品①)	推しの仏像を水墨画で制作する	・定期考査
7	●絵画「わたし自身をみつめて」 (作品②)	クロッキーとの出会い さまざまな自画像を鑑賞し、自分を見つめ、創造的な工夫をしながら作品を制作する	・クロッキー (表現技能) ・アイディアスケッチ (発想) ・授業 PF ・レポート② (主体・知識・鑑賞)
	●美術館へ行こう(レポート②)	作品との対話を通して、美術の価値や役割を考え、自分の見方や感じ方を深める。	
9	ー1 学期続きー	作品完成	・作品②(完成作品) ・授業 PF・最終 PF
10	●鑑賞「あの日を忘れない」 (レポート③)	「ゲルニカ」に表現された世界を知る	・レポート③ (主体・鑑賞)
11	●篆刻「つくる・使う・材料を味わう工芸」(作品③)	篆刻を学び、手で印を作り上げる良さに触れる 自分の名前を用いてデザインし、自分を表現する	・プリント① (主体・表現技能・発想) ・作品③ (印面デザイン・彫り) ・授業 PF
12			・定期考査
1	ー2 学期続きー	使いやすさを考慮した持ち手を表現する	・作品③ (持ち手彫刻) ・授業 PF・最終 PF ・作品カード
2	●グループ制作「即興タワー」	構造を瞬時に考え、それぞれの条件のもと、協力して制作する(人権)	・授業 PF
3			・学年末考査